

---

---

－ダイキン「第9回 現代人の空気感調査」－  
総合報告書

## 子どもと夏の空気に関する調査結果

---

---

平成18年7月

ダイキン工業株式会社 広報部

# <目次>

I. 調査概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査の実施要領	2
3. 回答者の基本属性	3
II. 調査結果	4
〔1〕夜の睡眠	5
1. 1年のうちで最も夜眠れない季節	5
■その季節が1年のうちで最も眠れない理由	6
2. 夜更かしする時	7
3. 子ども部屋のエアコンの設置状況	9
4. 睡眠時の子ども部屋のエアコン使用方法	11
5. 睡眠時の子ども部屋のエアコン設定温度	12
6. 睡眠時子ども部屋のエアコンの温度設定をする人	13
〔2〕夏の生活	14
1. 夏、屋外と室内のどちらで遊ぶのが好きか	14
■それぞれを好きな理由	15
2. 夏の睡眠状況や体調	17
3. 学校の夏の暑さ対策	19
4. 学校のエアコン設定温度	20
5. 夏不快に感じる事	21
6. 家と学校の教室のどちらが快適か	23
■それぞれの快適だと思う理由	24
7. 最も勉強しやすい場所	26
■夏にその場所が最も勉強しやすいと思う理由	28
8. クールビズの認知状況	29
9. 小学生にとっての“クールビズ”の内容	30
10. 夏に空気がおいしいと感じた時	31

## I . 調查概要

---

## 1. 調査目的

ダイキン工業では、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”について、もっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年から“空気”に関する現代人の意識を探るための「現代人の空気感調査」を実施してきました。

9回目となる今回の調査は、夏の暑い時期子ども達は暑い空気環境をどのように捉え、どのような生活を過ごしているのかを明らかにするために、首都圏と関西圏の小学生200名を対象に夏の空気環境と生活について、アンケートを実施しました。

## 2. 調査の実施要領

(1) 調査対象及びサンプル数：首都圏と関西圏の小学5年生と6年生の男子・女子、200人

<サンプル配分>

	合 計	5年生		6年生	
		男子	女子	男子	女子
合 計	200	50	50	50	50
首都圏	100	25	25	25	25
関西圏	100	25	25	25	25

首都圏：東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県

関西圏：大阪府・京都府・兵庫県

(2) 調査方法：訪問留置法 ※調査員が調査票を持参し、回答いただいたものを、後日回収に行く方法

(3) 調査時期：2006年6月12日（月）～6月23日（金）

### (4) 調査項目

- ・1年のうちで最も眠れない季節と眠れない理由
- ・夜更かしをする理由
- ・子ども部屋のエアコンの設置状況及び睡眠時のエアコンの設定
- ・夏に屋外と室内のどちらで遊ぶのが好きか、また、そちらが好きな理由
- ・夏の睡眠状況や体調
- ・学校の夏の暑さ対策と学校のエアコンの設定温度
- ・夏の空気でいやなこと
- ・夏の空気環境で、家と学校の教室ではどちらが快適か、また、そちらが快適な理由
- ・夏と夏以外の季節それぞれの勉強しやすい場所と、夏にその場所が過ごしやすい理由
- ・“クールビズ”の認知
- ・小学生にとっての“ぼくの、私のクールビズ”
- ・空気をおいしいと感じた経験
- ・回答者基本属性<家族構成(きょうだい、祖父母、他)、好きな季節、住居形態(一戸建て、鉄筋集合住宅、木造集合住宅)>

### 3. 回答者の基本属性

#### ■家族構成

自分と親	自分と きょうだい と親	自分と 親と 祖父母	自分と きょうだいと 親と 祖父母	その他
13 6.5%	162 81.0%	5 2.5%	19 9.5%	1 0.5%

#### ■最も好きな季節

春	夏	秋	冬
50 25.0%	80 40.0%	42 21.0%	28 14.0%

#### ■住居形態

一戸建て	鉄筋集合住宅	木造集合住宅
114 57.0%	78 39.0%	8 4.0%

## II. 調查結果

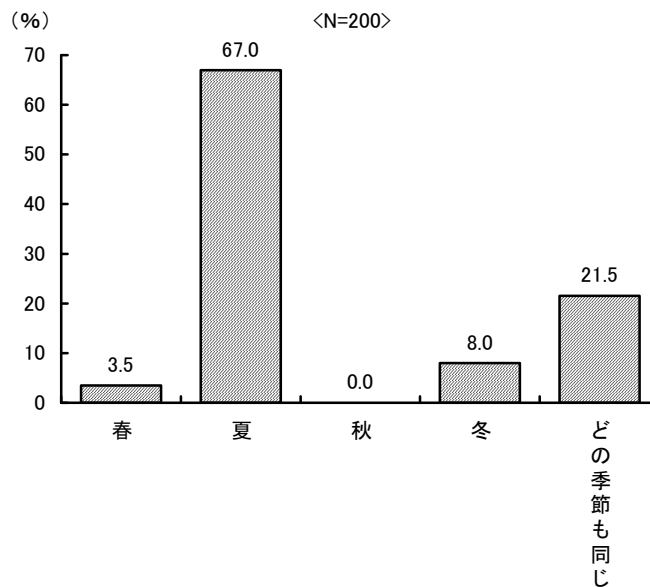
---

## 〔1〕夜の睡眠

### 1. 1年のうちで最も夜眠れない季節

「夏」(67.0%)が圧倒的に多く、「冬」(8.0%)や「春」(3.5%)はごくわずか、「秋」(0.0%)は皆無。「どの季節も同じくらい」(21.5%)は2割強。  
 ◆特に【秋が好きな子】は「夏」(71.4%)が“苦手”。

図1. 1年のうちで最も夜眠れない季節



首都圏	男子 <n=50>	4.0	64.0	-	6.0	26.0
	女子 <n=50>	6.0	70.0	-	6.0	18.0
関西圏	男子 <n=50>	2.0	70.0	-	8.0	20.0
	女子 <n=50>	2.0	64.0	-	12.0	22.0
好きな季節	春 <n=50>	-	70.0	-	2.0	28.0
	夏 <n=80>	2.5	65.0	-	10.0	22.5
	秋 <n=42>	9.5	71.4	-	11.9	7.1
	冬 <n=28>	3.6	60.7	-	7.1	28.6

子ども達にとって夜寝苦しいのはどの季節なのでしょう。1年のうちで最もよく眠れない季節はいつなのかを聞きました。

「夏」(67.0%)が圧倒的に多くなっています。「冬」(8.0%)や「春」(3.5%)はごくわずかずつあげられているだけで、「秋」(0.0%)はまったくありません。“夏の夜の寝苦しき”は大人も子どもも共通のようです。

なお、「どの季節も同じくらい」(21.5%)は2割強となっています。

- いずれの属性で見てもほぼ同様の傾向を示していますが、好きな季節別に見て【秋が好きな子】は「夏」(71.4%)が特に多く「どの季節も同じくらい」(7.1%)は他の季節を下回っています。

## ■その季節が1年のうちで最も眠れない理由

では、その季節がどうして眠れないのか、眠れない理由を聞きました。眠れない理由を季節ごとに整理すると以下ようになります。

<夏>が最も眠れない理由として、「暑い」(87件)「暑くて汗をかく」(20件)「暑くてのどが渇く」(7件)「蒸し暑い」(10件)など“暑い”が断然多くあげられています。また、「アトピーのため暑いとかゆくなる」(2件)などもあげられています。アレルギーのあるお子さんには最もつらい季節になっているようです。

そのほか、<冬>は「寒い」、<春>は「花粉症で鼻がつまる」が多くあげられています。

### <夏>が最も眠れない理由

- ・暑いから (87件)
- ・暑くて汗をかくから (20件)
- ・暑くてのどが渇くから (7件)
- ・蒸し暑いから (10件)
- ・蒸し暑くて汗をかくから (2件)
- ・アトピーなので、暑いとかゆいから (2件)
- ・暑くて、ふとんに体温が吸収されてふとんも熱くなるから
- ・暑すぎて眠れない上に、のぼせて鼻血が出る
- ・エアコンのタイマーをかけて寝ても、切れてしばらくすると暑くて目がさめてしまう
- ・蚊が飛んでいてうるさいから (7件)
- ・蛙の音がうるさい
- ・お茶を飲みすぎてトイレに行きたくなるから
- ・いろいろな行事があるので興奮して眠れない
- ・休みが続くので体を動かさなくなるから

### <冬>が最も眠れない理由

- ・寒いから (8件)
- ・寒くて、ふとんがあたたかくなるまで眠れない (2件)
- ・寒いから。ふとんから出て寒くて目がさめる
- ・寒くて、なかなか深い眠りににつけない
- ・寒くて体が冷えるから
- ・寒くて足が冷えるから
- ・全身が寒くて眠れない
- ・サンタのプレゼントが楽しみで眠れない

### <春>が最も眠れない理由

- ・花粉症で鼻がつまるから (4件)
- ・まだクーラーをつけていないのに暑い日もあるから
- ・春の終わりごろはジメジメしているから
- ・なんとなく寝付けない

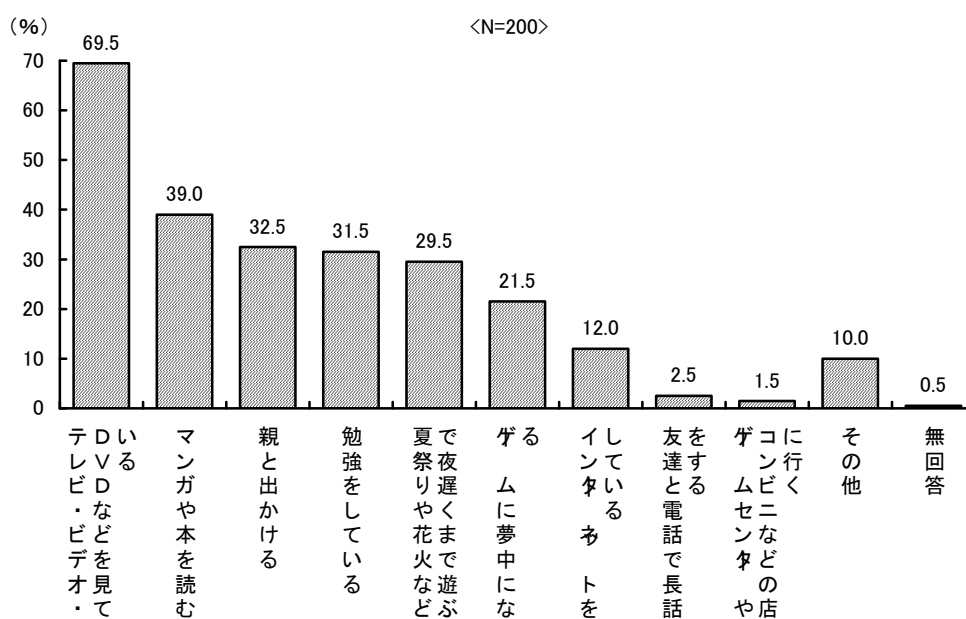


## 2. 夜更かしする時

「テレビ・ビデオ・DVDなどを見ている」(69.5%)が断然多い。以下、「マンガや本を読む」(39.0%)、「親と出かける」(32.5%)、「勉強をしている」(31.5%)などが続く。

◆【関西圏/女子】は「テレビ・ビデオ・DVDなどを見ている」(80.0%)がとりわけ多いのに対し、【首都圏/女子】は「勉強をしている」(42.0%)が他の層を大きく上回る。

図2. 夜更かしするのはどんな時【複数回答】



地域	性別	人数	テレビ・ビデオ・DVDなどを見ている	マンガや本を読む	親と出かける	勉強をしている	夏祭りや花火などで夜遅くまで遊ぶ	ゲームに夢中になる	インターネットを	友達と電話で長話を	ゲームセンターなどの店に行く	その他	無回答
首都圏	男子	50	64.0	40.0	32.0	32.0	24.0	20.0	12.0	-	-	10.0	2.0
	女子	50	66.0	38.0	38.0	42.0	38.0	16.0	18.0	2.0	2.0	16.0	-
関西圏	男子	50	68.0	46.0	36.0	24.0	32.0	24.0	8.0	2.0	4.0	8.0	-
	女子	50	80.0	32.0	24.0	28.0	24.0	26.0	10.0	6.0	-	6.0	-
好きな季節	春	50	72.0	38.0	20.0	18.0	18.0	18.0	6.0	2.0	-	8.0	-
	夏	80	76.3	37.5	36.3	35.0	36.3	25.0	10.0	2.5	3.8	8.8	-
	秋	42	61.9	47.6	31.0	33.3	19.0	21.4	16.7	-	-	14.3	2.4
	冬	28	57.1	32.1	46.4	42.9	46.4	17.9	21.4	7.1	-	10.7	-

子ども達が夜遅くまで起きているのはどんな時なのでしょう。夜更かしをする理由を聞きました。

最も多いのは「テレビ・ビデオ・DVDなどを見ている」(69.5%)で、ほぼ7割の子どもがあげています。そのほか、「マンガや本を読む」(39.0%)、「親と出かける」(32.5%)、「勉強をしている」(31.5%)は3割以上が、「夏祭りや花火などで夜遅くまで遊ぶ」(29.5%)、「ゲームに夢中になる」(21.5%)は2割以上があげています。

- 地域/性別に見ると、【関西圏/女子】は「テレビ・ビデオ・DVDなどを見ている」(80.0%)がとりわけ多く、【関西圏/男子】は「マンガや本を読む」(46.0%)が他の層を上回っています。一方、【首都圏/女子】は「勉強をしている」(42.0%)が4割を超え他の層を大きく上回り、【首都圏/男子】(32.0%)も3割強と【関西圏/男子】【関西圏/女子】を上回っています。

- 好きな季節別に見ると、【冬が好きな子】は「テレビ・ビデオ・DVDなどを見ている」(57.1%)が他の層ほど多くなく、「親と出かける」「夏祭りや花火などで夜遅くまで遊ぶ」(各 46.4%)「勉強をしている」(42.9%)が他を上回っているのに対して、【秋が好きな子】は「マンガや本を読む」(47.6%)が他を上回っています。

### 3. 子ども部屋のエアコンの設置状況

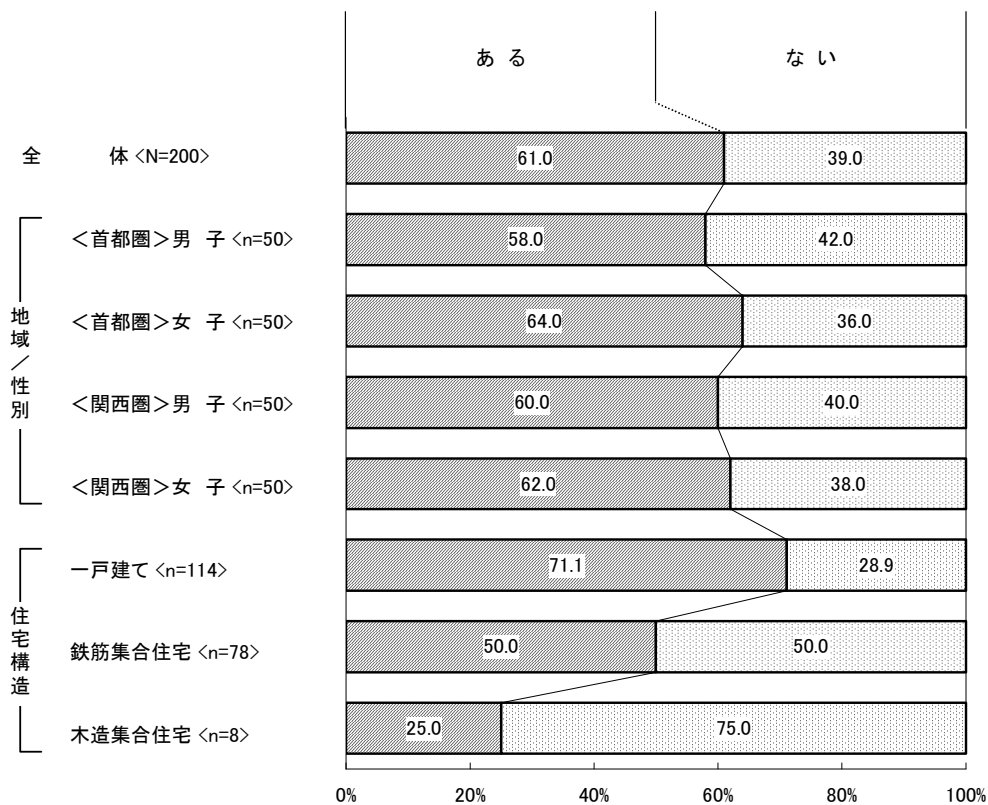
子ども部屋が「ある」(89.0%)は9割弱を占め、そのうちの7割弱はエアコンが「ある」(68.5%)と回答している。<エアコンが設置された子ども部屋がある>割合は全体の61.0%。

◆<エアコンが設置された子ども部屋がある>の割合は、【一戸建て】が71.1%、【鉄筋集合住宅】が50.0%、【木造集合住宅】が25.0%。

表1. 子ども部屋の有無と、その子ども部屋のエアコンの有無

	子ども部屋の有無			子ども部屋のエアコンの有無		
	サンプル数	ある	ない	サンプル数	ある	ない
全 体	200	89.0	11.0	178	68.5	31.5
【地域】<首都圏>男 子	50	88.0	12.0	44	65.9	34.1
女 子	50	94.0	6.0	47	68.1	31.9
<関西圏>男 子	50	90.0	10.0	45	66.7	33.3
女 子	50	84.0	16.0	42	73.8	26.2
【住宅構造】一戸建て	114	93.9	6.1	107	75.7	24.3
鉄筋集合住宅	78	84.6	15.4	66	59.1	40.9
木造集合住宅	8	62.5	37.5	5	40.0	60.0

図3. エアコンが設置された子ども部屋の有無



まず、子ども達が自分の部屋（きょうだいで共有する部屋を含む）を持っているのか聞きました。「ある」（89.0%）がほぼ9割を占めており、「ない」（11.0%）は1割にとどまっています。

さらに、子ども部屋を持っていると回答した子どもに対して、子ども部屋にはエアコンがあるのかを聞きました。7割弱が「ある」（68.5%）としており、「ない」（31.5%）は3割強となっています。

子ども部屋の有無とあわせて＜エアコンが設置された子ども部屋がある＞という子どもの割合は全体の61.0%となっています。

- 地域／性別に見ると、子ども部屋が「ある」とする割合は【首都圏／女子】（94.0%）が9割強ととりわけ多いのに対して、【関西圏／女子】（84.0%）は8割強にとどまっており4階層のなかで最も保有率が低くなっています。さらに、子ども部屋にエアコンがあるかでは、いずれの層も「ある」が6割前後となっており、大きな差は見られません。

このことから、＜エアコンが設置された子ども部屋がある＞の割合は、【首都圏／男子】が58.0%、【関西圏／男子】が60.0%に対して、【首都圏／女子】が64.0%、【関西圏／女子】が62.0%となっており、【首都圏】【関西圏】ともに【男子】より【女子】の方が保有率はわずかに高くなっています。

- 住宅構造別に見ると、子ども部屋が「ある」は【一戸建て】（93.9%）では9割以上を占めており、【鉄筋集合住宅（マンション等）】（84.6%）でも8割を超えていますが、【木造集合住宅（アパート等）】（62.5%）では6割にとどまっています。子ども部屋にはエアコンがあるかでは、【一戸建て】は「ある」（75.7%）が7割を超えているのに対して、【鉄筋集合住宅】（59.1%）はほぼ6割、【木造集合住宅】（40.0%）は4割にとどまっています。

＜エアコンが設置された子ども部屋がある＞の割合は、【一戸建て】が71.1%、【鉄筋集合住宅】が50.0%、【木造集合住宅】が25.0%となっています。

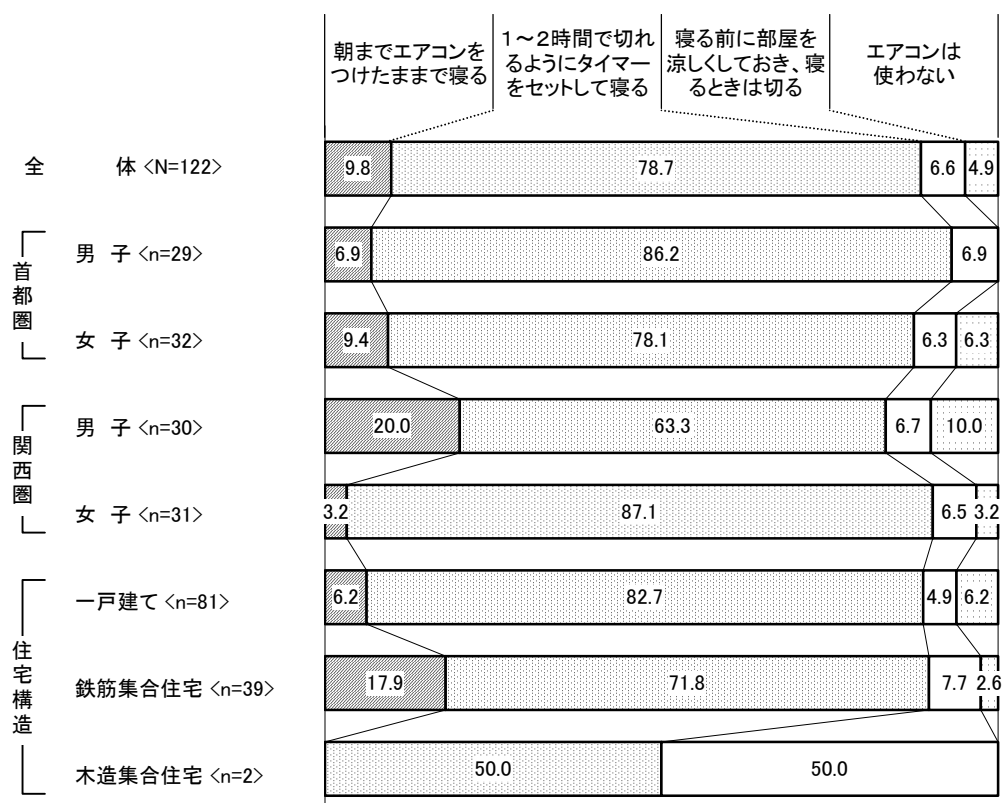
#### 4. 睡眠時の子ども部屋のエアコン使用方法

「1～2時間で切れるようにタイマーをセットして寝る」(78.7%)が断然多く、「朝までエアコンをつけたままで寝る」(9.8%)、「寝る前に部屋を涼しくしておき寝る時は切る」(6.6%)が1割弱ずつ。「エアコンは使わない」(4.9%)はごくわずか。

◆いずれの層も「1～2時間で切れるようにタイマーをセットして寝る」が断然多いが、【関西圏／男子】は「朝までエアコンをつけたままで寝る」(20.0%)も2割。

図4. 睡眠時の子ども部屋のエアコン使用方法

(子ども部屋があり、子ども部屋にエアコンがある子のみ)



子ども部屋を持ち、子ども部屋にエアコンが設置されているという子どもに、夏の夜、睡眠時にエアコンをどうしているのかについても聞きました。

「1～2時間で切れるようにタイマーをセットして寝る」(78.7%)が断然多く、「朝までエアコンをつけたままで寝る」(9.8%)、「寝る前に部屋を涼しくしておき寝る時は切る」(6.6%)が1割弱ずつあげられています。「エアコンは使わない」(4.9%)はごくわずかです。

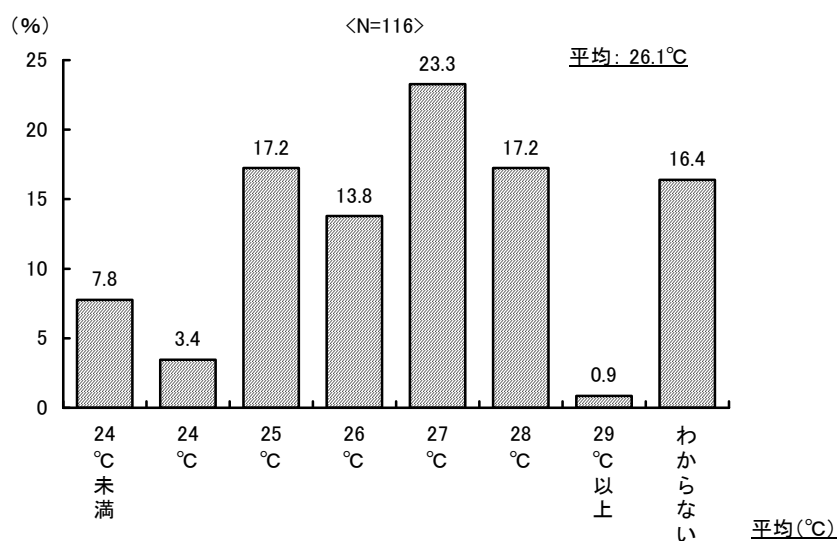
- 地域／性別に見ると、いずれの層も「1～2時間で切れるようにタイマーをセットして寝る」が断然多くなっていますが、【関西圏／男子】は「朝までエアコンをつけたままで寝る」(20.0%)が2割を示しており、他の層を上回っています。
- 住宅構造別に見ると、【一戸建て】は「1～2時間で切れるようにタイマーをセットして寝る」(82.7%)がとりわけ多いのに対して、【鉄筋集合住宅】は「朝までエアコンをつけたままで寝る」(17.9%)も2割弱とやや目につきます。

## 5. 睡眠時の子ども部屋のエアコン設定温度

「27℃」(23.3%) が最も多く、以下「25℃」「28℃」(各 17.2%)、「26℃」(13.8%) の順。平均は 26.1℃

◆【首都圏／男子】【首都圏／女子】は「25℃」(20.7%、23.3%) が最も多く、平均は 25.8℃ と 26.0℃。一方、【関西圏／男子】【関西圏／女子】は「27℃」(25.9%、36.7%) が最も多く、平均は 26.5℃ と 26.3℃で、【首都圏】の方がやや低め。

図5. 睡眠時に子ども部屋のエアコンは何度に設定しているか  
(睡眠時に子ども部屋のエアコンをつけて寝る子のみ)



地域	性別	24℃未満	24℃	25℃	26℃	27℃	28℃	29℃以上	わからない	平均(℃)
首都圏	男子 <n=29>	10.3	3.4	20.7	13.8	13.8	10.3	3.4	24.1	25.8
	女子 <n=30>	10.0	3.3	23.3	16.7	16.7	20.0	-	10.0	26.0
関西圏	男子 <n=27>	3.7	3.7	11.1	14.8	25.9	22.2	-	18.5	26.5
	女子 <n=30>	6.7	3.3	13.3	10.0	36.7	16.7	-	13.3	26.3

睡眠時に子ども部屋のエアコンをつけているという子どもに、エアコンの温度は何度くらいに設定しているかを聞きました。

最も多いのは「27℃」(23.3%) で、以下「25℃」「28℃」(各 17.2%)、「26℃」(13.8%) の順となっています。また「24℃未満」(7.8%) も1割弱となっています。なお、「分からない」は【首都圏／男子】(24.1%) が最も多く、温度設定にやや無頓着といった傾向が見られます。平均は 26.1℃です。

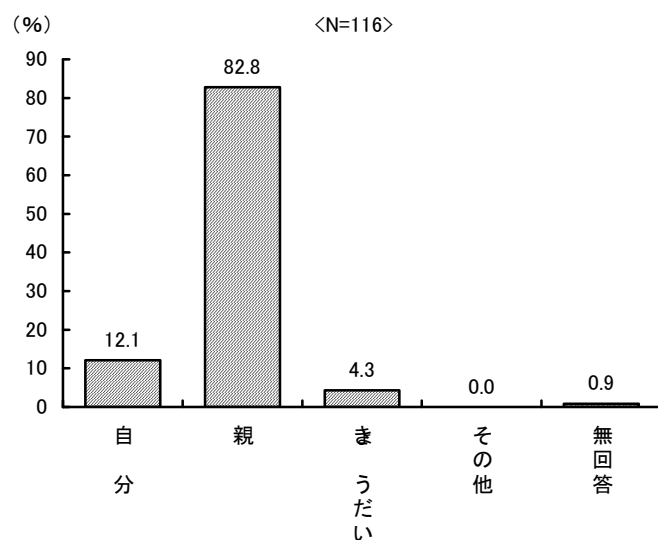
- 地域／性別に見ると、【首都圏／男子】【首都圏／女子】はともに「25℃」(20.7%、23.3%) が最も多く、平均は 25.8℃ と 26.0℃ですが、【関西圏／男子】【関西圏／女子】は「27℃」(25.9%、36.7%) が最も多く、平均は 26.5℃ と 26.3℃となっています。【男子】【女子】とも平均温度は【関西圏】(26.4℃) より【首都圏】(25.9℃) の方がやや低めです。

## 6. 睡眠時子ども部屋のエアコンの温度設定をする人

圧倒的に「親」(82.8%)が多く、「自分」(12.1%)や「(同室の)きょうだい」(4.3%)の“子どもが決める”はごくわずか。

◆いずれの属性でも「親」が圧倒的。「自分」は【男子】が【女子】をわずかに上回る。

図6. 睡眠時に子ども部屋のエアコンの温度設定は誰がするか  
(睡眠時に子ども部屋のエアコンをつけて寝る子のみ)



首都圏	男子 <n=29>	13.8	82.8	3.4	-	-
	女子 <n=30>	6.7	90.0	3.3	-	-
関西圏	男子 <n=27>	18.5	81.5	-	-	-
	女子 <n=30>	10.0	76.7	10.0	-	3.3

さらに、睡眠時子ども部屋のエアコンをつけているという子どもに、エアコンの温度は誰が設定しているのかについても聞きました。

8割以上が「親」(82.8%)と回答しており、「自分」(12.1%)や「(同室の)きょうだい」(4.3%)といった“子ども自身が決める”ということはごくわずかのようなのです。

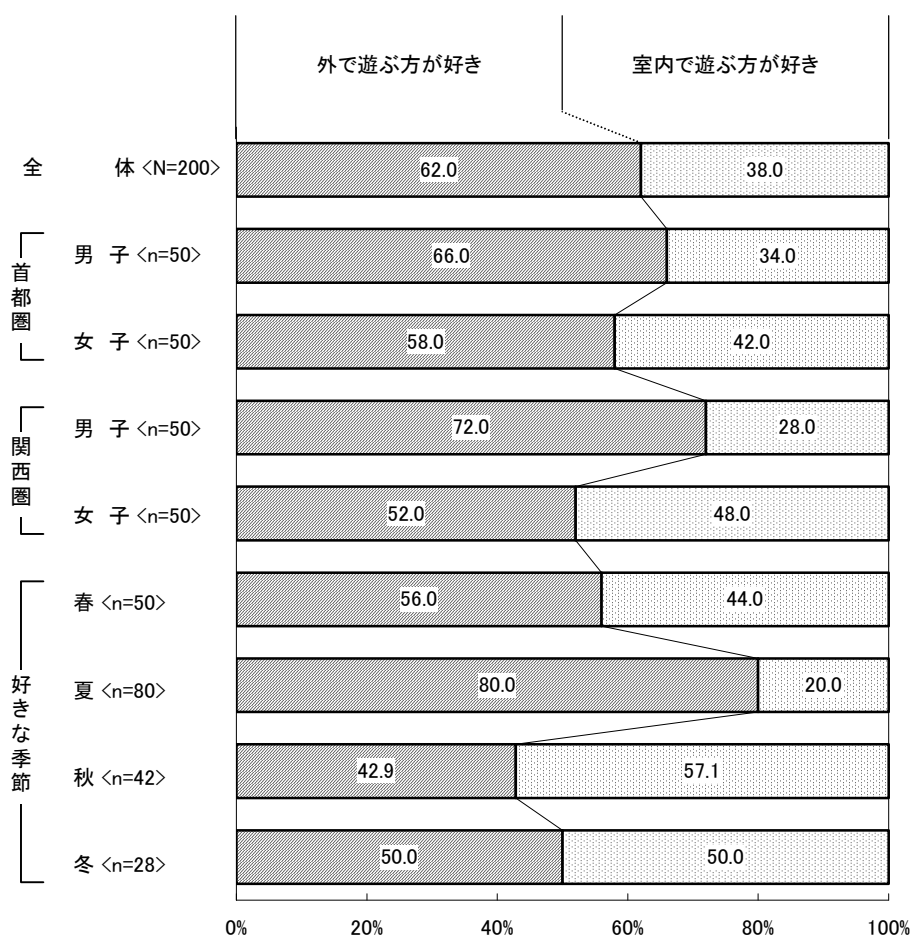
- いずれの属性で見ても「親」が圧倒的ですが、性別で見ると【首都圏】【関西圏】ともに「自分」は【男子】(13.8%、18.5%)が【女子】(6.7%、10.0%)を上回っています。

## 〔2〕夏の生活

### 1. 夏、屋外と室内のどちらで遊ぶのが好きか

「外で遊ぶ方が好き」(62.0%)が6割を超え、「室内で遊ぶ方が好き」(38.0%)は4割弱。  
 ◆【夏が好きな子】は「外で遊ぶ方が好き」(80.0%)が8割を占めるが、それ以外の季節が好きな子は「室内で遊ぶ方が好き」とほぼ二分される。

図7. 夏、屋外で遊ぶのと室内で遊ぶのではどちらが好きか



夏の暑い時期に、子ども達は屋外で遊ぶのと室内の遊ぶのではどちらが好きなのでしょうか。

6割以上が「外で遊ぶ方が好き」(62.0%)と回答しており、「室内で遊ぶ方が好き」(38.0%)は4割弱にとどまっています。

- 地域／性別に見ると、【関西圏／男子】は「外で遊ぶ方が好き」(72.0%)が7割を超え、とりわけ多くなっています。さらに、性別で見ると、<首都圏><関西圏>ともに「外で遊ぶ方が好き」は【男子】(66.0%、72.0%)が【女子】(58.0%、52.0%)を上回っています。
- 好きな季節別に見ると、【夏が好きな子】は「外で遊ぶ方が好き」(80.0%)が8割を占めていますが、【春が好きな子】(56.0%)や【冬が好きな子】(50.0%)は「室内で遊ぶ方が好き」



とほぼ二分され、【秋が好きな子】(42.9%)は「室内で遊ぶ方が好き」(57.1%)が上回っています。

## ■それぞれを好きな理由

屋外で遊ぶのが好きな理由と室内で遊ぶのが好きな理由をそれぞれ聞きました。

屋外で遊ぶのが好きな理由では、「外で遊ぶ方が楽しい」「外で汗をかいて遊ぶ方が気持ちがいい」や、「外の方がいろいろな遊びができる」「たくさんの友達と遊べる」などの理由が多くあげられています。そのほか、「プールで遊べる」「サッカーができる」「野球ができる」など“外の遊びが好き”という内容も多くあげられています。

一方、室内で遊ぶのが好きな理由では、圧倒的に「外は暑い・室内の方が涼しい」「室内はエアコンが効いている」「外で遊ぶと日射病になる」といった“暑いのを嫌う”内容が多くあげられています。また、「ゲームをしたい」「外遊びが好きではない」といった“本質的に室内の方が好き・外は嫌い”という理由もあります。また、「アトピーで直射日光を浴びられない」というものもあげられています。

### <屋外>で遊ぶのが好きな理由

- ・外で思いっきり体を動かして遊ぶ方が楽しい (22件)
- ・外で汗をかいて遊ぶ方が気持ちがいい (12件)
- ・走り回って遊べる (5件)
- ・広いところで体を動かしている方がいい (2件)
- ・外の方がいろいろな遊びができる (12件)
- ・外の方がたくさんの友達と遊べる (8件)
- ・長い時間遊んでいられる (2件)
- ・プールで遊べる (21件)
- ・サッカーができる (9件)
- ・野球ができる (6件)
- ・ボール遊びができる (2件)
- ・スポーツができる (4件)
- ・鬼ごっこができる
- ・ドッジボールができる
- ・一輪車で遊べる
- ・バスケットボールができる
- ・バレーボールができる
- ・夏しか出来ない楽しい遊びがある
- ・日光に当たれる (4件)
- ・虫捕りができる (3件)
- ・外の方が涼しい (2件)
- ・川で魚を捕るのが好き
- ・室内にいても退屈だから
- ・みんなが運動しない時期だから
- ・山などに行くうちに外が好きになった

### ＜室内＞で遊ぶのが好きな理由

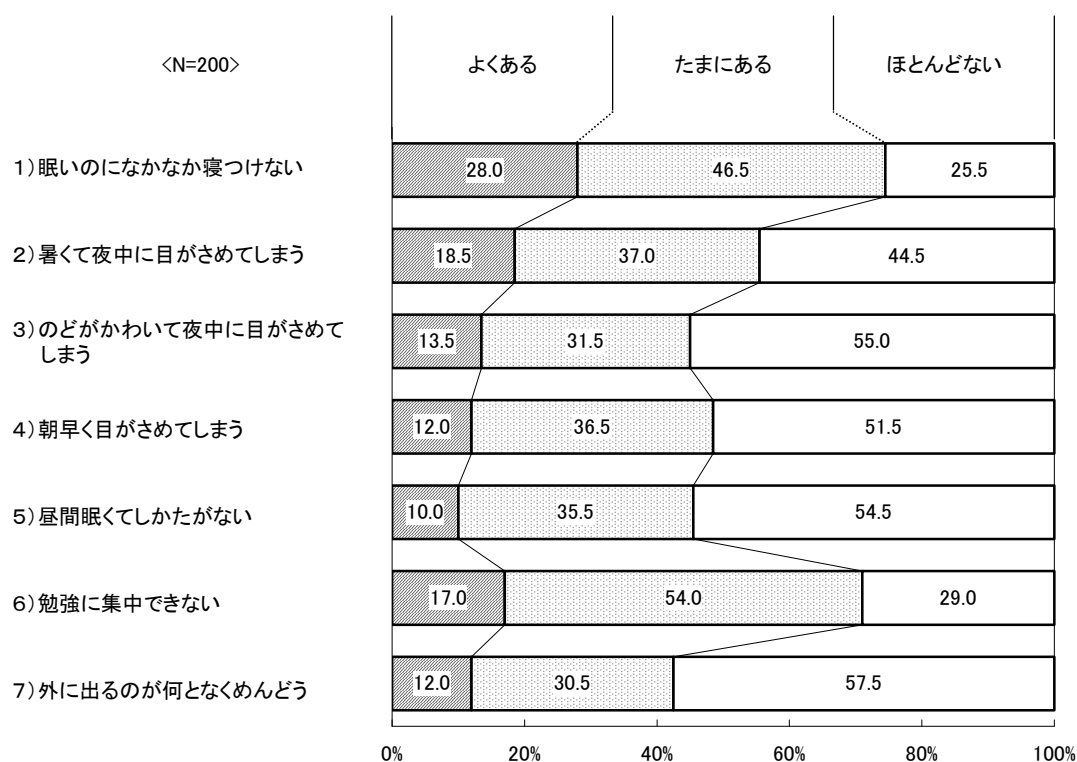
- ・外は暑いから (25 件)
- ・室内の方が涼しいから (14 件)
- ・室内はエアコンがきいていて涼しいから (9 件)
- ・外で遊ぶと日射病になるから (3 件)
- ・外で遊ぶと汗をかいてあせもが出来るから (2 件)
- ・外で遊ぶと日焼けするから (3 件)
- ・ゲームをしたいから (9 件)
- ・外遊びが好きではないから (2 件)
- ・外に行っても友だちがいないので遊べないから (2 件)
- ・アトピーで直射日光を浴びられないから (2 件)
- ・室内でマンガや本を読みたいから
- ・手芸が好きだから
- ・外だと虫に刺されるから
- ・外で遊ぶと喉が渇くから
- ・眠たいので室内でごろごろしたいから

## 2. 夏の睡眠状況や体調

「眠いのになかなか寝つけない」は<よくある> (28.0%) <たまにある> (46.5%) がともに多く、最も多くの子どもが悩まされている事柄。「暑くて夜中に目が覚めてしまう」「勉強に集中できない」も多い。

◆遊び場に【室内が好きな子】はすべての項目が【屋外が好きな子】を上回る。

図8. 夏の睡眠状況や体調



夏は暑く睡眠不足が心配されますが、子ども達に睡眠不足や睡眠不足が原因の体調の悪さがあるのか聞きました。

「眠いのになかなか寝つけない」は<よくある> (28.0%) が他を大きく上回っており、<たまにある> (46.5%) も多くなっているなど、夏の生活のなかで最も多くの子どもが悩まされている項目となっています。また、「暑くて夜中に目が覚めてしまう」も<よくある> (18.5%)、<たまにある> (37.0%) とともに多くあげられています。さらに、「勉強に集中できない」は<たまにある> (54.0%) が5割を超えています。そのほかの項目も、いずれも<よくある>と<たまにある>が半分弱あげられており少なくありません。

表2. 夏の睡眠状況や体調（＜よくある＞＜たまにある＞の合計）

	サンプル数	眠いにつけないかな	暑くて夜中に目が覚めてしまう	のどが渇いて夜中に目が覚めてしまう	朝早く目が覚めてしまう	昼間眠くてしかなかった	勉強に集中できない	外に出るのが何となく
【地域／性別】＜首都圏＞男子	50	74.0	56.0	42.0	50.0	24.0	74.0	32.0
女子	50	74.0	58.0	58.0	42.0	46.0	72.0	42.0
＜関西圏＞男子	50	76.0	56.0	42.0	54.0	56.0	66.0	42.0
女子	50	74.0	52.0	38.0	48.0	56.0	72.0	54.0
【好きな季節】春	50	78.0	48.0	36.0	48.0	46.0	68.0	36.0
夏	80	75.0	58.8	46.3	50.0	42.5	73.8	37.5
秋	42	78.6	59.5	50.0	42.9	52.4	71.4	52.4
冬	28	60.7	53.6	50.0	53.6	42.9	67.9	53.6
【子ども部屋にエアコン】ある	122	75.4	56.6	45.9	51.6	46.7	68.9	44.3
ない	78	73.1	53.8	43.6	43.6	43.6	74.4	39.7
【学校にエアコン】ある	21	81.0	42.9	23.8	57.1	61.9	52.4	47.6
ない	179	73.7	57.0	47.5	47.5	43.6	73.2	41.9
【好きな遊び場】屋外	124	71.0	50.8	43.5	47.6	40.3	69.4	25.0
室内	76	80.3	63.2	47.4	50.0	53.9	73.7	71.1
【快適な場所】家	181	75.1	54.1	44.8	47.0	45.3	71.3	43.1
学校の教室	19	68.4	68.4	47.4	63.2	47.4	68.4	36.8

いずれの属性でも「眠いになかなか寝つけない」が多く、大きな違いは見られません。そのほかの項目について見ると、・・・

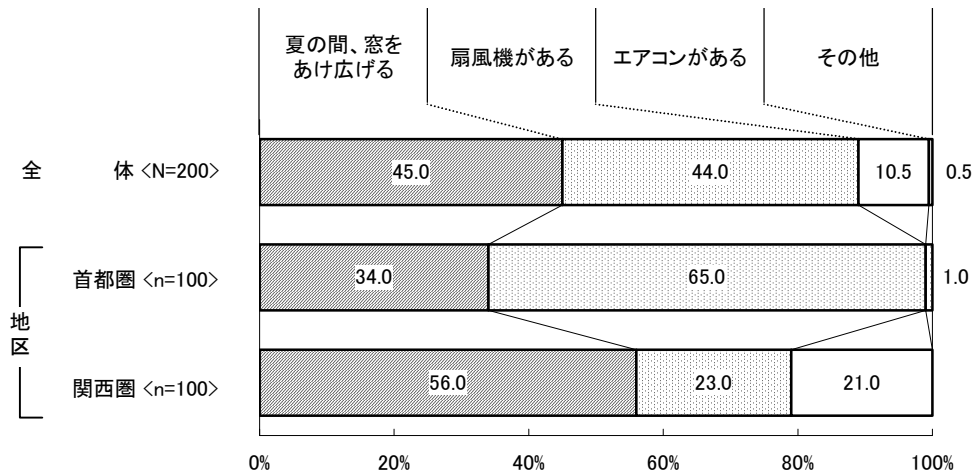
- 地域／性別に見ると、【関西圏】の【男子】【女子】は「昼間眠くて仕方がない」（各 56.0%）がともに半数を超えていますが、【首都圏／男子】（24.0%）は2割強とさほど多くありません。また、【関西圏/女子】は「のどが渇いて夜中に目が覚めてしまう」（58.0%）も多く他の層を大きく上回っています。
- 子ども部屋のエアコンの有無別に見ると、【エアコンがある子】は「朝早く目が覚めてしまう」（51.6%）が【エアコンがない子】（43.6%）をやや上回っています。そのほかには、さほど大きな違いはありません。
- 学校のエアコンの有無別に見ると、昼間の生活に関連する項目では、【学校にエアコンがない子】は「勉強に集中できない」（73.2%）が【学校にエアコンがある子】（52.4%）を大きく上回っています。
- 好きな遊び場別に見ると、【室内が好きな子】はすべての項目で【屋外が好きな子】を上回っています。“インドア派”の子どもは夏の睡眠状況や体調が“アウトドア派”の子どもに比べてあらゆることで良くないようです。
- 快適な場所別に見ると、【学校の教室が快適という子】は「暑くて夜中に目が覚めてしまう」（68.4%）や「朝早く目が覚めてしまう」（63.2%）が【家が快適という子】（54.1%、47.0%）を上回っています。

### 3. 学校の夏の暑さ対策

「窓を開け広げる」(45.0%)と「扇風機がある」(44.0%)がそれぞれ半数弱で、「エアコンがある」(10.5%)は1割。

◆【首都圏】は「扇風機がある」(65.0%)が6割強、「窓を開け広げる」(34.0%)が3割強で、「エアコンがある」(0.0%)は皆無だが、【関西圏】は「窓を開け広げる」(56.0%)が半数を超え、「扇風機がある」(23.0%)と「エアコンがある」(21.0%)がともに2割強。

図9. 学校の夏の暑さ対策



学校は、夏の期間、暑さに対してどのような対策をとっているのでしょうか。通っている学校の暑さ対策を聞きました。

「窓を開け広げる」(45.0%)と「扇風機がある」(44.0%)がそれぞれ半数弱を占めており、「エアコンがある」(10.5%)は1割となっています。

- 地域別に見ると、【首都圏】は「扇風機がある」(65.0%)が6割を超え、「窓を開け広げる」(34.0%)が3割強となっており、「エアコンがある」(0.0%)はまったくありませんが、【関西圏】は「窓を開け広げる」(56.0%)が半数を超えており、「扇風機がある」(23.0%)と「エアコンがある」(21.0%)がともに2割強でほぼ同じ割合となっています。

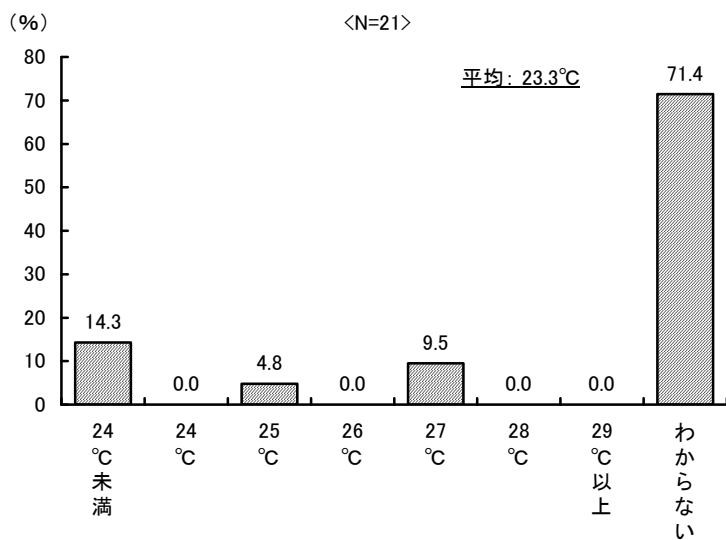
※エアコンや扇風機の設置率など上記の値は、今回調査対象となった200サンプルの子ども達が通う小学校の状況を示したものであり、首都圏及び関西圏全域における全小学校の実態を反映したものではありません。

今回の調査結果では、首都圏にはエアコンを設置している小学校はないことになってしまいましたが、実際にはそういったことはありません。ここで扱われている値は、首都圏、関西圏それぞれ100サンプルで実施した意識調査の結果であり、一つの傾向と捉えてください。

#### 4. 学校のエアコン設定温度

「24℃未満」(14.3%)「27℃」(9.5%)が各1割前後。7割以上は「わからない」(71.4%)と回答。

図10. 学校のエアコンは夏期何度に設定されているか (学校にエアコンがある子のみ)



学校にエアコンが設置されていると回答した子どもに、学校のエアコンが何度に設定されているのかを聞きました。

「24℃未満」(14.3%)が1割強、「27℃」(9.5%)が1割弱となっていますが、大半は「わからない」(71.4%)と答えています。

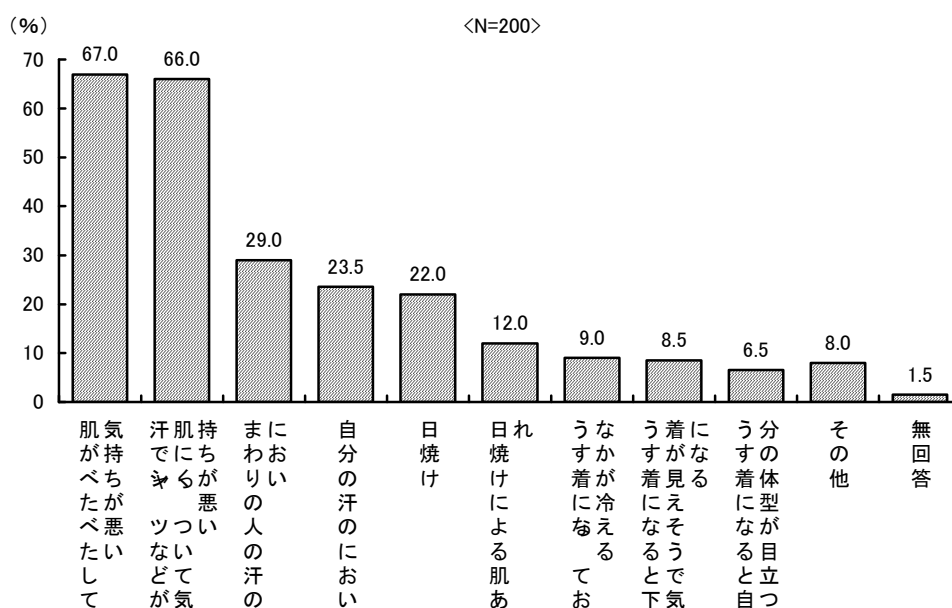
わかっている子どもの回答だけで平均を算出すると23.3℃ですが、有効サンプルが6件と少ないので参考にとどめます。

## 5. 夏不快に感じること

「肌がべたべたして気持ちが悪い」(67.0%)と「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(66.0%)が多い。以下、「周りの人の汗の匂い」(29.0%)、「自分の汗の匂い」(23.5%)、「日焼け」(22.0%)が続く。

◆【首都圏/女子】は「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(76.0%)、「肌がべたべたして気持ち悪い」(70.0%)、「周りの人の汗の匂い」(46.0%)、「日焼け」(40.0%)、「自分の汗の匂い」(38.0%)、「日焼けによる肌荒れ」(20.0%)が他の層を大きく上回る。

図11. 夏不快に感じること



層	性別	肌がべたべたして気持ちが悪い	汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い	まわりの人の汗の匂い	自分の汗の匂い	日焼け	日焼けによる肌荒れ	うす着が冷える	うす着に見える	うす着の型が目立つ	その他	無回答
首都圏	男子 <n=50>	66.0	56.0	14.0	12.0	14.0	12.0	8.0	6.0	-	10.0	-
	女子 <n=50>	70.0	76.0	46.0	38.0	40.0	20.0	10.0	12.0	10.0	6.0	2.0
関西圏	男子 <n=50>	66.0	64.0	26.0	22.0	10.0	10.0	8.0	2.0	4.0	6.0	4.0
	女子 <n=50>	66.0	68.0	30.0	22.0	24.0	6.0	10.0	14.0	12.0	10.0	-
好きな季節	春 <n=50>	66.0	64.0	24.0	26.0	24.0	8.0	4.0	6.0	2.0	6.0	2.0
	夏 <n=80>	63.8	61.3	28.8	25.0	18.8	15.0	6.3	8.8	6.3	10.0	2.5
	秋 <n=42>	76.2	76.2	31.0	23.8	23.8	9.5	9.5	7.1	7.1	4.8	-
	冬 <n=28>	64.3	67.9	35.7	14.3	25.0	14.3	25.0	14.3	14.3	10.7	-
好遊きな場	屋外 <n=124>	65.3	58.9	27.4	24.2	18.5	10.5	8.9	7.3	3.2	8.1	2.4
	室内 <n=76>	69.7	77.6	31.6	22.4	27.6	14.5	9.2	10.5	11.8	7.9	-

夏の時期はどんなことを不快に感じるかを聞きました。

最も多いのは「肌がべたべたして気持ちが悪い」(67.0%)で、ほぼ同じ割合で「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(66.0%)が続いています。以下、「周りの人の汗の匂い」(29.0%)、「自分の汗の匂い」(23.5%)、「日焼け」(22.0%)が2割強で続いています。

- 地域/性別に見ると、【首都圏/女子】は「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(76.0%)、「肌がべたべたして気持ち悪い」(70.0%)、「周りの人の汗の匂い」(46.0%)、「日焼け」(40.0%)、「自分の汗の匂い」(38.0%)、「日焼けによる肌荒れ」(20.0%)と、上位項目はすべて他の層を大きく上回っています。また、【女子】は【関西圏】【首都圏】ともに「薄

着になると下着が見えそうで気になる」(14.0%、12.0%)、「薄着になると自分の体型が目立つ」(12.0%、10.0%)が【男子】をわずかずつ上回っています。乙女心に地域は関係ないようです。

- 好きな季節別に見ると、【秋が好きな子】は「肌がべたべたして気持ちが悪い」「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(各 76.2%)がとりわけ多く、他を上回っています。一方、【夏が好きな子】は「肌がべたべたして気持ちが悪い」「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」「周りの人の汗の匂い」「日焼け」などの主だった項目が全般的に他の層より少な目となっています。
- 好きな遊び場別に見ると、【室内が好きな子】は「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(77.6%)、「日焼け」(27.6%)など多くの項目が【屋外が好きな子】(58.9%、18.5%)を上回っています。

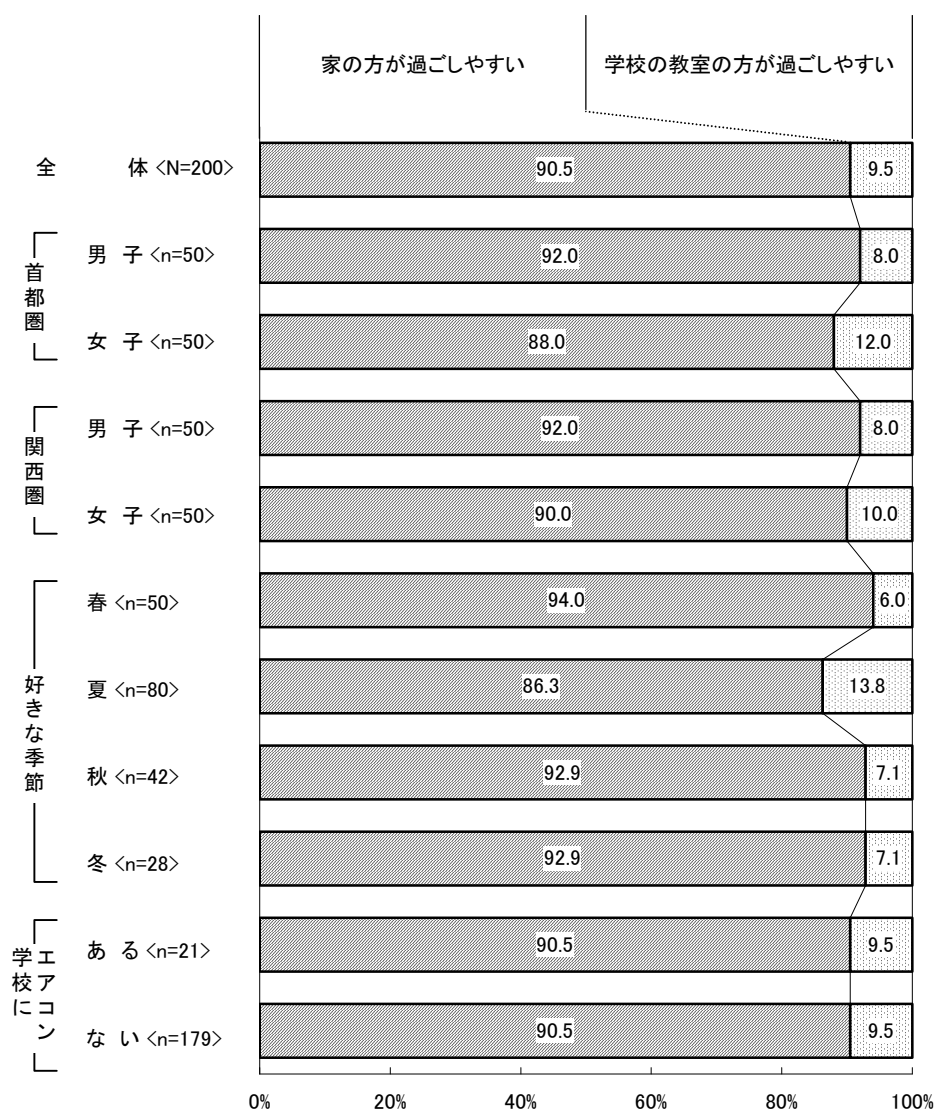


## 6. 家と学校の教室のどちらが快適か

9割が「家の方が過ごしやすい」(90.5%)とし、「学校の教室の方が過ごしやすい」(9.5%)は1割弱。

◆いずれの属性でもほぼ同様の結果。

図12. 家と学校の教室のどちらが快適か



夏の空気環境という観点で家と学校の教室ではどちらが快適かを聞きました。

9割が「家の方が過ごしやすい」(90.5%)と回答しており、「学校の教室の方が過ごしやすい」(9.5%)は1割弱にとどまっています。

- いずれの属性で見ても「家の方が過ごしやすい」が9割前後を占めており、ほぼ同様の結果となっています。

## ■それぞれの快適だと思う理由

夏の空気環境がなぜ家の方が快適と思うのか、あるいは学校の教室の方が快適と思うのか、そう思う理由をそれぞれの場合について聞きました。

家の方が快適とする理由では、「家はエアコンが効いていて涼しい」が圧倒的に多く、「家には扇風機がある」「家は風通しがよい」なども含めて、“家の方が涼しい”との理由が多くあげられています。また、「家はエアコンの温度を自分で調節できる」も多くがあげています。さらに「冷たいものが飲める」「アイスが食べられる」といった声も聞かれます。

また、これら“家の方がよい”とする理由の逆説になりますが、「学校はエアコンがない」「学校は扇風機がない」や、学校にエアコンが設置されているという学校でも「エアコンが効いていない」「エアコンが効きすぎて寒い」といった両極の理由があげられています。学校のエアコンの温度設定もたくさんの子どもがいると個人差があるのでなかなか難しいようです。

そのほか、「学校は人がたくさんいるので暑い」や、「学校は男子が汗臭い」「男子が教室に帰ってきたときの熱気が嫌」などが上げられており、思春期の乙女心も垣間見えます。

一方、学校の教室の方が快適とする理由は、ほとんどが「風が入る」ですが、「学校のエアコン設定温度が家より低い（家では下げてくれない）」などもあげられています。

### <家>の方が快適だと思う理由

- ・家はエアコンが効いていて涼しい（74件）
- ・家はエアコンの温度を自分で調節できる（16件）
- ・家には扇風機がある（3件）
- ・家にはエアコンや扇風機がある（2件）
- ・家は風通しがよい（21件）
- ・家なら自分の好きなときに窓を開けられる（4件）
- ・家は窓が多い、大きい（3件）
- ・家の方が涼しい（19件）
- ・家なら好きな時に冷たいものが飲める（7件）
- ・家ならアイスが食べられる（2件）
- ・学校にはエアコンがないから暑い（7件）
- ・学校にはエアコンも扇風機もないから（5件）
- ・学校は扇風機だけなので暑い（2件）
- ・学校にもエアコンがついているがあまり効いていない（5件）
- ・学校は冷房の効きすぎで寒い（2件）
- ・学校は人がたくさんいるので暑い（11件）
- ・家は学校のように人があまりいないから学校より涼しい（2件）
- ・学校は暑い（7件）
- ・学校は男子が汗臭い（2件）
- ・男子が教室に帰ってきたときの熱気が嫌
- ・家の扇風機の方が大きい
- ・家はあまり日が当たらないから学校より涼しい
- ・学校はほこりが立つ
- ・学校だと周りに人がいるので、暑くてもきちんとしていないといけない

**<学校の教室>の方が快適だと思う理由**

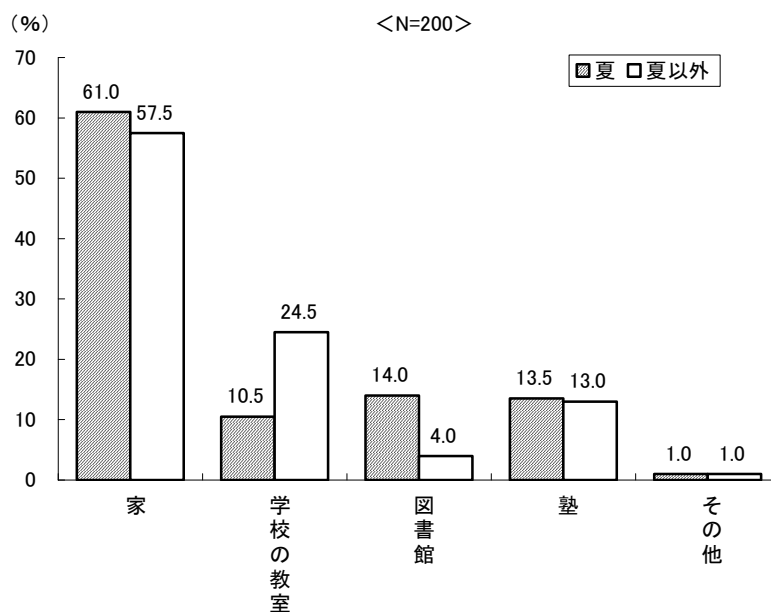
- ・風通しがよい (5 件)
- ・自然の風が入ってくる (3 件)
- ・廊下から涼しい風が入ってくる (3 件)
- ・窓が多く風通しがよい (3 件)
- ・扇風機があるから風の通りがよい (2 件)
- ・学校はエアコンの設定温度が家より低い

## 7. 最も勉強しやすい場所

いずれの季節も「家」が最も多いが、＜夏＞は「家」(61.0%)が特に多く＜夏以外の季節＞(57.5%)を上回る。＜夏以外の季節＞では第2位は「学校の教室」(24.5%)だが、＜夏＞は「学校の教室」(10.5%)が1割と、「図書館」(14.0%)や「塾」(13.5%)を下回る。

◆いずれの属性でも、「家」「図書館」は＜夏＞が＜夏以外の季節＞を上回っているが、「学校の教室」は＜夏＞が＜夏以外の季節＞を下回る。

図13. 夏と夏以外の季節に最も勉強しやすい場所



空気環境の面で最も勉強しやすい場所はどこかを、夏と、夏以外の季節それぞれについて聞きました。

いずれの季節でも「家」が最も多くなっていますが、その割合は＜夏＞(61.0%)が特に多く、＜夏以外の季節＞(57.5%)を上回っています。また、「学校の教室」は＜夏以外の季節＞(24.5%)では2割を超え第2位で続いています。＜夏＞(10.5%)には1割にとどまり、「図書館」(14.0%)や「塾」(13.5%)を下回って最も少なくなっています。

表3. 夏と夏以外の季節に最も勉強しやすい場所

		サンプル数	夏					夏以外の季節				
			家	学校の教室	図書館	塾	その他	家	学校の教室	図書館	塾	その他
地域／性別	<首都圏>男子	50	68.0	12.0	4.0	16.0	-	66.0	22.0	2.0	10.0	-
	女子	50	56.0	10.0	16.0	16.0	2.0	56.0	28.0	2.0	12.0	2.0
	<関西圏>男子	50	58.0	14.0	14.0	12.0	2.0	50.0	30.0	2.0	16.0	2.0
	女子	50	62.0	6.0	22.0	10.0	-	58.0	18.0	10.0	14.0	-
好きな季節	春	50	76.0	4.0	14.0	6.0	-	70.0	14.0	8.0	8.0	-
	夏	80	56.3	16.3	16.3	10.0	1.3	50.0	32.5	3.8	11.3	2.5
	秋	42	52.4	11.9	11.9	23.8	-	52.4	26.2	2.4	19.0	-
	冬	28	60.7	3.6	10.7	21.4	3.6	64.3	17.9	-	17.9	-
学校のエアコン	ある	21	47.6	19.0	19.0	9.5	4.8	42.9	33.3	-	19.0	4.8
	ない	179	62.6	9.5	13.4	14.0	0.6	59.2	23.5	4.5	12.3	0.6

- 地域／性別に見ると、いずれの層も「家」が最も多く、その割合は<夏>が<夏以外の季節>をわずかずつ上回っています。「図書館」も<夏>が<夏以外の季節>を上回っていますが、「学校の教室」はすべての層で<夏>が<夏以外の季節>を大きく下回っています。
- 好きな季節別に見ても同様に、いずれの季節も「家」「図書館」は<夏>が<夏以外の季節>をやや上回っていますが、「学校の教室」は<夏>が<夏以外の季節>を下回っています。
- 学校のエアコンの有無別も同様に、エアコンの有無に関わらず「家」「図書館」は<夏>が<夏以外の季節>を上回っているのに対して、「学校の教室」は<夏>が<夏以外の季節>を下回っています。

また、「家」は<夏><夏以外の季節>ともに【学校にエアコンがない子】が【学校にエアコンがある子】を大きく上回っていますが、「学校の教室」は【学校にエアコンがある子】が【学校にエアコンがない子】を上回っています。

## ■夏にその場所が最も勉強しやすいと思う理由

なぜその場所が夏に最も勉強しやすいと思うか、その理由を聞きました。

<家>が最も勉強しやすい理由は「エアコンが効いていて涼しい」が極めて多くあげられています。そのほか、「エアコンの温度を自分で設定できる」も多くあげられています。そのほか、「風が入る」「扇風機がある」なども多くあげられており、家では涼をとる手段が多い様子が伺われます。

また、<図書館><塾>も勉強しやすい理由として「冷房が効いている」「快適な温度である」が多くあげられています。<塾>ではさらに「冷房の温度調節ができる」「エアコンの温度調節をしてくれる」といった“エアコンの温度が設定できる”もあげられています。

これらの場所はいずれも“エアコン”に関連する内容が多くを占めていますが、<家>や<塾>は、自分にちょうどよい温度に容易に設定できることも大きな利点のようです。

一方、<学校の教室>が最も勉強しやすい理由は「涼しい風が入る」がほとんどです。

### <家>が最も勉強しやすいと思う理由

- ・エアコンが効いていて涼しい (38 件)
- ・エアコンの温度を自分で設定できる (24 件)
- ・扇風機がある (3 件)
- ・エアコンや扇風機がある (3 件)
- ・風通しがよい (8 件)
- ・涼しい風が入る (2 件)
- ・涼しい (18 件)

### <学校の教室>が最も勉強しやすいと思う理由

- ・涼しい風が教室に入ってくる (5 件)
- ・涼しい (3 件)
- ・扇風機がある
- ・自分で涼しさを調節できる

### <図書館>が最も勉強しやすいと思う理由

- ・冷房が効いていて涼しい (7 件)
- ・冷房の設定温度がちょうどいい (2 件)
- ・涼しい (13 件)
- ・冷たい飲み物がある

### <塾>が最も勉強しやすいと思う理由

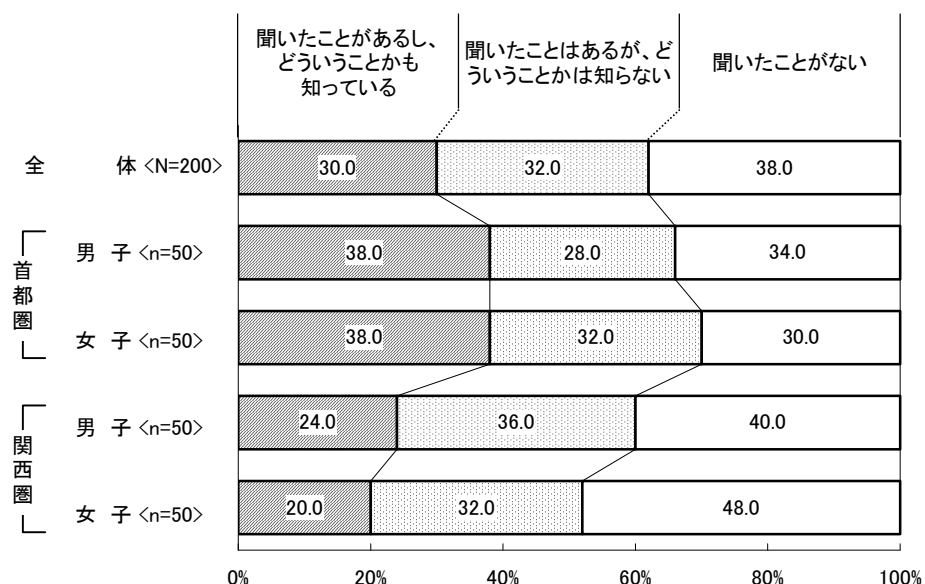
- ・冷房が効いていて涼しい (10 件)
- ・いつも冷房がついている (2 件)
- ・いつも快適な温度だから (3 件)
- ・冷房がよく効いているので涼しい (2 件)
- ・冷房の温度調節ができる (2 件)
- ・エアコンの温度調節をしてくれる
- ・涼しい (4 件)

## 8. クールビズの認知状況

「内容認知」(30.0%)「名称認知」(32.0%)「知らない」(38.0%)にはほぼ3分割されており、認知度(62.0%)は6割強。

◆【男子】【女子】とも認知度は【首都圏】の方が高く、特に【関西圏/女子】はほぼ半数が「知らない」(48.0%)と回答。

図14. クールビズの認知状況



今や大きな話題となっている“クールビズ”ですが、子ども達の間にはどの程度浸透しているのでしょうか。子ども達に“クールビズ”を知っているか聞きました。

「聞いたことがあるし、どうということかも知っている(内容認知)」(30.0%)が3割、「聞いたことはあるが、どうということかは知らない(名称認知)」(32.0%)が3割強を占めており、認知度(62.0%)は6割を超えており、「聞いたことがない(知らない)」(38.0%)は4割弱となっています。

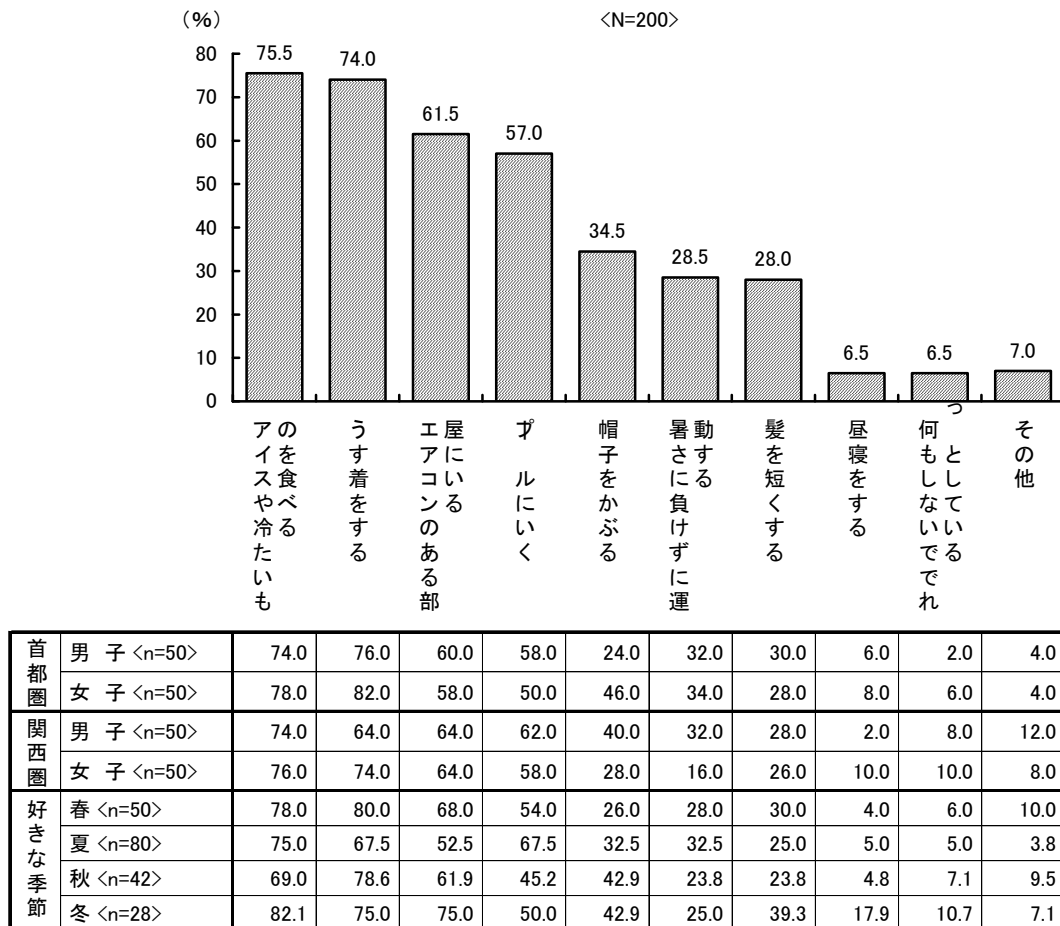
- 地域/性別に見ると、認知度は【男子】【女子】とも【首都圏】の方が高く、【首都圏/男子】【首都圏/女子】の「内容認知」(各38.0%)は4割弱、「名称認知」(28.0%、32.0%)は3割前後となっています。一方、【関西圏/女子】は「知らない」(48.0%)が半数弱を占めており、「内容認知」(20.0%)は2割、「名称認知」(32.0%)が3割強にとどまっています。【関西圏/男子】も「内容認知」(24.0%)が2割強、「名称認知」(36.0%)が3割強となっています。

## 9. 小学生にとっての“クールビズ”の内容

7割強が「アイスや冷たいものを食べる」(75.5%)「薄着をする」(74.0%)をあげているが、「エアコンのある部屋にいる」(61.5%)も6割強を占める。

◆【夏が好きな子】は「プールに行く」(67.5%)が他の層を上回り、「薄着をする」(67.5%)「エアコンのある部屋にいる」(52.5%)は他を下回る。

図15. 小学生にとっての“クールビズ”とは何か



では、子ども達が行うクールビズとはどのようなものなのでしょう。“子どもにとってのクールビズ”とは何かを聞きました。

7割強が「アイスや冷たいものを食べる」(75.5%)をあげており、「薄着をする」(74.0%)が続いていますが、その一方で「エアコンのある部屋にいる」(61.5%)も6割強があげています。そのほか、「プールに行く」(57.0%)を6割弱が、「帽子をかぶる」(34.5%)、「暑さに負けずに運動する」(28.5%)、「髪を短くする」(28.0%)を3割前後があげています。

- 地域／性別に見ると、【首都圏／女子】は「薄着をする」(82.0%)、「帽子をかぶる」(46.0%)が、【関西圏／男子】は「プールに行く」(64.0%)が他の層を上回っています。
- 好きな季節別に見ると、【夏が好きな子】は「プールに行く」(67.5%)が他の層を大きく上回っていますが、「薄着をする」(67.5%)や「エアコンのある部屋にいる」(52.5%)は他を下回っています。



## 10. 夏に空気がおいしいと感じた時

「山」「海」「キャンプ」「いなか」など“自然に触れた時”が多いが、「朝早く起きた時」「外でたくさん遊んだ後」「夕立のあとの風」「夏休みの宿題を終わらせた時」「プールで顔を上げた時」など日常生活のさまざまな場面でも子ども達は空気がおいしいと感じている。

これまでに空気がおいしいと感じたのは、どんな時、どんな場所、どんな状況だったのか、空気がおいしいと感じた時の経験をあげてもらいました。

「山に行った時」(27件)、「山の頂上まで登った時」(9件)といった『山』が多くあげられています。そのほか、「キャンプで山に行った時」(18件)、「キャンプで朝早く起きた時」(3件)などの『キャンプ』、「海に行った時」(17件)、「森林に行った時」(4件)、また「いなかのおじいちゃん、おばあちゃんの家に行った時」(24件)など“自然に触れた時”のことが多くあげられています。

具体的な地名では「沖縄」(5件)、「北海道」(4件)を始め、いろいろな場所があげられています。

その一方で、「朝早く起きた時」(4件)、「外でたくさん遊んだ後」(3件)、「夕立のあと風が吹いてきた時」(2件)、「夏休みの宿題を終わらせた時」(2件)、「プールで潜って顔をあげた時」(4件)、「プールから上がった時」(3件)、「川で泳いで顔をあげた時」(2件)、「散歩」、「芝生に寝転んでいる時」などがあげられています。特別に改まった所ではなく、何気ない日常生活のさまざまな場面でも子ども達は空気がおいしいと感じているようです。

### <具体的な回答の内容> (抜粋)

- ・山に行った時 (27件)
- ・山の頂上まで登った時 (9件)
- ・キャンプで山に行った時 (18件)
- ・キャンプで朝早く起きた時 (3件)
- ・海に行った時 (17件)
- ・森林に行った時 (4件)
- ・川に行った時 (2件)
- ・旅行で景色の良い所に行った時 (2件)
- ・いなかのおじいちゃん、おばあちゃんの家に行った時 (24件)
- ・沖縄 (5件)
- ・北海道 (4件)
- ・朝早く起きた時 (4件)
- ・外でたくさん遊んだ後 (3件)
- ・夕立のあと風が吹いてきた時 (2件)
- ・夏休みの宿題を終わらせた時 (2件)
- ・プールで潜って顔をあげた時 (4件)
- ・プールから上がった時 (3件)
- ・川で泳いで顔をあげた時 (2件)
- ・散歩をしている時
- ・芝生に寝転んでいる時
- ・家の中に風が入ってきた時